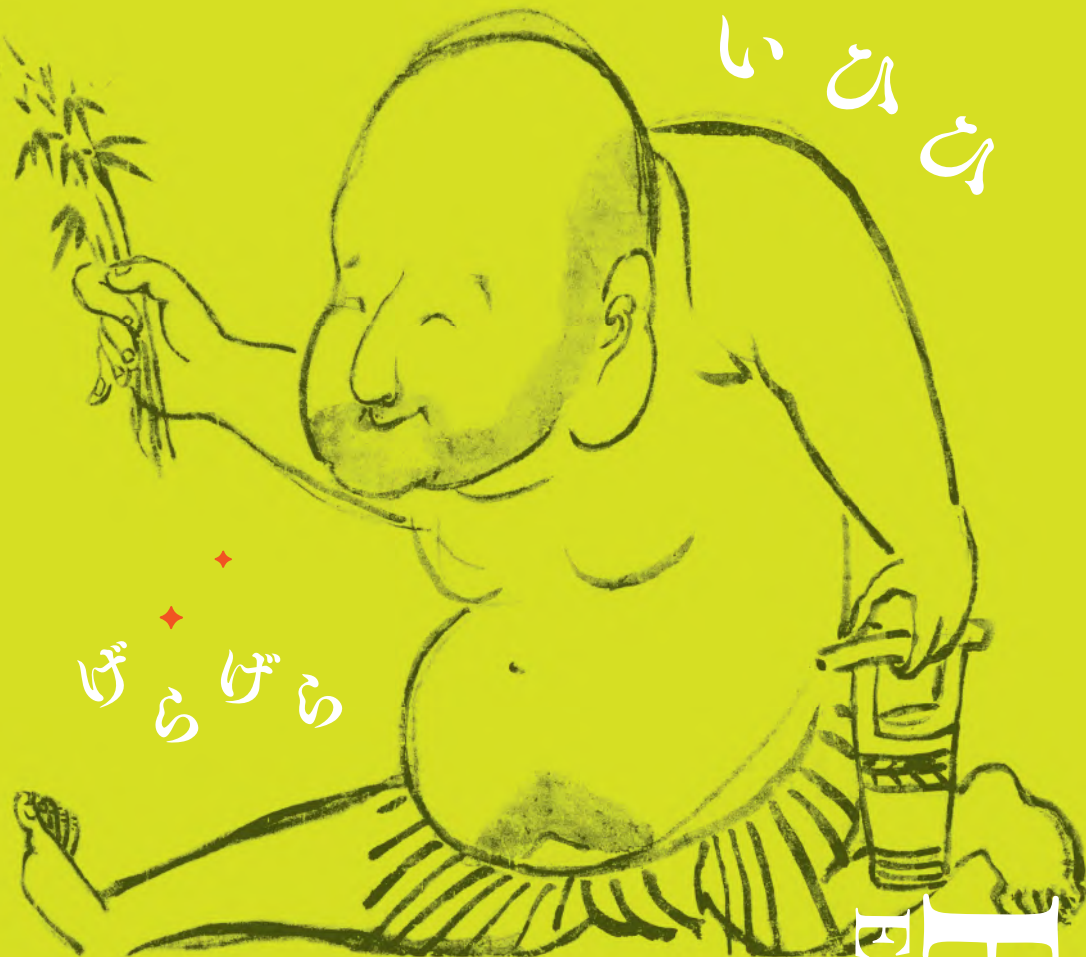


墨痕に笑わらう

2022年度 早稲田大学・美濃加茂市 文化交流事業 共催展

美濃の禅画の世界
白隠はくいんと仙厓せんがいと

上 白隠慧鶴「布袋すたすた坊主図」早稲田大学會津八一記念博物館(部分)
中央 仙厓義梵「銀和尚図」早稲田大学會津八一記念博物館(部分)
左下 仙厓義梵「雲雀図」早稲田大学會津八一記念博物館(部分)



げらげら

わははは

SENDAI

Gibon

2022 11/18金 — 12/18日

[開館時間] 10:00 - 17:00 [休館日] 水曜日

早稲田大学歴史館 企画展示室

東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田キャンパス1号館1階

主催 ◆ 早稲田大学文化推進部文化企画課 / 美濃加茂市民ミュージアム
協力 ◆ 早稲田大学會津八一記念博物館

入場
無料

墨痕に あう

美濃の禅画の世界 白隠と仙厓と

人のあうを愛す——。美濃国武儀郡（現 岐阜県関市武芸川町）に出自を
持つ仙厓義梵（1750 - 1837）は自らの描く絵をこう称し、自由で柔らかな
筆致で、見る者の頬が思わず緩んでしまうような作品を多く残しました。生活
の隅々まで神仏が息づいていた時代。一部の禅僧たちは仏画や戯画まで多
岐にわたる画題の中で、世と自分を見つめ直し教えを広めようとする意志を
絵筆に託しました。描かれたものたちは、まさに彼の目に映る時代の投影
で、ひとつの絵を通して心を繋ぐ人々の思いが滲むようです。

早稲田大学會津八一記念博物館には、室町時代から江戸時代にかけての
数多くの「禅画」が所蔵されています。一方、岐阜県美濃加茂市やその周辺
地域は、仙厓をはじめとして、山之上村で修行を重ねた白隠慧鶴（1685 -
1768）、伊深村正眼寺の住持・雪潭紹璞（1801 - 1873）など書画をよく
した禅僧とゆかりが深く、各地に墨画・墨蹟が伝わり、その足跡が遺ります。

この展覧会ではこれらの禅画を展示し、彼らの生涯と研鑽の過程で形作
られた思想を紐解きながら、独創的な絵が生まれたその意図に迫ります。あ
るいは豪放、あるいは洒脱な墨の痕と教えの薫る讀文を糸口に、今も変わ
らぬ祈りの奥深さや墨と人との交わりを感じる機会となれば幸いです。



- 上 白隠慧鶴「絵銅觀音図」早稲田大学會津八一記念博物館
中 白隠慧鶴「濃陽富士山記 茅齋記」個人蔵（部分）
／美濃加茂市指定有形文化財
左下 白隠慧鶴「愚達磨図」賑濟寺蔵／岐阜県重要文化財
下中央 白隠慧鶴「蓑笠襖袋図」賑濟寺蔵／岐阜県重要文化財
右下 雪潭紹璞「山水図」早稲田大学會津八一記念博物館

早稲田大学歴史館 Waseda University History Museum

【会期】2022年11月18日（金）～12月18日（日）
【開館時間】10:00～17:00 【休館日】水曜日

〒169-8050
東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田キャンパス1号館1階

【お問い合わせ】

TEL：03-6380-2891（月～金 9:00～17:00）
E-mail：reki@list.waseda.jp

ご来館の際は、ウェブサイトで
最新のスケジュールをご確認ください。
<https://www.waseda.jp/culture/about/facilities/rekishikan/>

入場
無料



交通のご案内

- ◆ 東京メトロ東西線 早稲田駅（3aまたは3b出口）から徒歩5分
- ◆ JR山手線・西武新宿線 高田馬場駅（早稲田口）から都営バス（学02）「早大正門」行 終点下車徒歩1分
- ◆ 都電荒川線 早稲田駅から徒歩5分

美濃加茂会場

【会期】2023年1月8日（日）～2月19日（日）
【時間】9:00～17:00
【観覧料】200円
【休館日】月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）
【会場】美濃加茂市民ミュージアム 企画展示室

【お問い合わせ】

美濃加茂市民ミュージアム

〒505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3299-1
TEL：0574-28-1110 FAX：0574-28-1104
<http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>